

広報

# にしあいつ

4

2024

No.786



卒業証書  
福島県立西会津高等学校

卒業証書

卒業証書  
福島県立西会津高等学校

もくじ - Contents -

P2 特集 令和6年度町政方針

P8 まちの話題

西会津中・高卒業証書授与式、町商工会青年部創立60周年記念式典 ほか

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！

# 所信表明

1月1日に発生しました能登半島地震により、多くの尊い命が犠牲になり、そして今もなお、多くの方が避難を余儀なくされています。町では、2月5日から9日までの間、県の要請に基づき職員1人を被災地に派遣し、罹災証明の申請に伴う被災家屋の調査を行ってまいりました。能登地域を始めとした被害に遭われた多くの方々に、心からお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の位置付けが、季節性インフルエンザと同等の5類へ移行されたことに伴い、これまで実施が見送られてきた多くのイベントが数年振りに実施されるなど町に活気が戻ってきました。

令和6年度につきましては、西会津町総合計画・後期基本計画に定めた、町の将来像、まちづくりの方向性に基づき各種施策を推進し、本町発展のために、持続可能な社会の実現のため、最大限努力していく覚悟です。

さらに、本年は町制施行70周年の節目の年です。今日まで西会津町の礎を築いてこられた先人諸氏ならびに町民の皆さんに改めて衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

町といたしましては、この記念すべき年に併せ、さまざまな関連事業を計画し、西会津町の魅力を全国に広め、さらなる活性化を図るべく、引き続き積極的なまちづくりを推進してまいります。



# 令和6年度町政方針

## 基本方針

令和6年度は、引き続き西会津町総合計画・後期基本計画に基づき、町の将来像「笑顔つながり夢ふくらむまち」を1つと、「西会津」の実現に向け、4つの方向性の下、各種事業を総合的に実施します。（事業内容は4ページから）。

計画の推進に向けた取り組みとして、まちづくりの根幹を成す「まちづくり基本条例」に基づく町民主体の協働のまちづくりを一層推進し、「官民連携」による効率的で効果的な事業運営を進めます。

人口減少対策の3本柱として「人材育成」「移住定住の促進」「健康長寿」を事業推進の基本的な考え方に据え、西会津町デジタル戦略の着実な実行、SDGsの推進、ウイズコロナ・ポストコロナへの対応により人口減少対策の加速化を図り、持続可能なまちを目指して取り組みを進めます。



▲後期基本計画は町ホームページからも閲覧することができます

※国土交通省東京航空局への福島県内包括飛行申請の承認を受け、喜多方警察署および西会津交番に飛行の届出をしています。

## 計画の推進に向けて

町総合計画の推進に向けた取り組みとして、まちづくりの根幹を成す「まちづくり基本条例」に基づく町民主体の協働のまちづくりを一層推進し、「官民連携」による効率的で効果的な事業運営を進めます。

また、ふるさと応援寄附金事業については、「日本の田舎、西会津町。」を最大限活用した地域産品のブランド力強化ならびに地域活性化起業人の活用と地域産品の開発販売戦略を推進していきます。インターネットサイトを活用した地場産品のPR、現地ツアーおよび都内PRイベントの開催などにより本町を寄付先を選んでいただける仕組みづくりを推進し、寄付額2億3,000万円以上を目標に自主財源の確保と西会津ファンの獲得に努めていきます。

将来に夢と希望が持てる活気のあまるまちづくりに全力で取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

# 健やかな人をもに育むまちづくり

## 子育て支援

若者世代が結婚や出産、そして子育てに期待や希望、喜びが持てるまちづくりに向けて、令和7年度から令和11年度を計画期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画の策定を進めます。

出産祝金をはじめ、保育料の無償化、乳幼児家庭子育て応援金の支給、インフルエンザ予防接種の無償化や放課後児童クラブの2人目以降の無償化を引き続き実施していきます。また、子ども1人の出生につき原則10万円が交付される出産・子育て応援交付金などを継続し、子育て世代の経済的負担を軽減します。



## 農林業

町農林業振興アクションプランに基づき、戦略に掲げた重点事業を軸に、「米」「ミネラル野菜」「菌床キノコ」の振興を3本柱として各種事業に取り組みしていきます。

令和5年度に設立した一般財団法人西会津町農業公社の運営支援を行います。また、地域の目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の策定や、担い手農家などの育成・支援、農業振興地域整備計画の見直しを重点事業として取り組んでいきます。

### ◎西会津産米

「西会津一うまい米コンテンツ」を継続し、知名度向上、販売力強化を図り、農家の営農意欲と栽培技術の向上につなげます。

また、「石高プロジェクト」の本格的な推進により、デジタル面からも米の販路拡大と農家支援を行います。

### ◎ミネラル栽培

健康な土づくりの次のステップに向けて、ミネラル栽培基準の見直し検討を行います。

## 教育環境

子育てコミュニティ施設キッズランド芝草は、子どもの屋内遊び場として利用が定着してきたことから、今後は親同士や地域との交流など新たなニーズへの対応が図られるよう、子育て世代の人や地域の皆さんと検討を進めていきます。

新たに学習用ソフトの充実や3Dプリンターを設置し、プログラミング教育の強化を図ります。また、児童生徒や教職員を支援するICT教育支援分野の地域おこし協力隊の2人体制を継続し、主体的・対話的で深い学びを実践します。

また、本町教育の不易流行を融合・継承するため「西会津子ども研幾塾」や武蔵野大学との連携協定による「アントレプレナーシップ教育」、国際社会に対応できる豊かな

# 温故創新 地産地笑のまちづくり

す。さらに、キュウリ生産者向け栽培暦の作成、成分分析、逸品づくりの検討、生産・販売体制の見直しに向けた調査・検討など直売所における生産管理体制の強化を図ります。

### ◎菌床キノコ

パイプハウス整備の支援により生産量と出荷額が増加していることから、産地化に向けて引き続き支援を継続し、積極的に取り組む生産者にパイプハウスの貸し付けを進めます。

### ◎鳥獣被害防止対策

イノシシの被害が深刻化しているため、引き続き鳥獣被害対策専門員の配置を継続し、地域の支援に取り組みます。また、電気柵の設置やICTを活用した捕獲対策の推進、新規猟銃の購入支援など、総合的な被害防止力の強化に努め、被害の低減を図ります。

人間性を身に付けさせるための「英語教育・異国文化体験事業」や、「英語検定受検料への補助支援」を引き続き実施します。新たに英語教育支援分野の地域おこし協力隊を確保し、英語教育の強化を図り、西会津高校および町内在住高校生への支援も進めます。

最終年度となる文部科学省事業「幼保小の架け橋プログラム」は、カリキュラム開発会議を核に、連携教育カリキュラムの開発と実践、5歳児と小学校1年生を中心とした協働的な学習の実践などにより、保小中連携体制を強化していきます。

教育関係施設においては、施設完成から20年を経過する中学校および給食センター施設の建物・設備の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕工事を進めます。

さらに、有害鳥獣解体処理施設の有効活用を図り、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷が制限されているクマやイノシシなどジビエ肉の出荷制限解除に向けて、県と連携を密にして取り組みます。

## 商工業

「企業支援補助金」や「中小企業振興資金融資制度貸付事業」を引き続き実施し、「中小企業融資制度資金利子補給補助事業」については、補助対象資金を拡充します。

さらに、「無料職業紹介事業」により地元企業の求人情報を提供し、雇用の創出・確保を図ります。また、起業・創業者に対して「創業支援事業」や「空き店舗及び空家利活用補助事業」などの支援を行い、令和5年度に設立した「西会津町事業承継協議会」と連携した施策にも取り組みます。

## 生涯学習

若者を対象とした講座



座である「西会津大人研幾塾にしあいづLabo」を開催し、公民館講座の充実を図り、町民一人一人が主体性をもって生涯学習に取り組める場の提供を図ります。

## スポーツ

運動を習慣化するため

め、気軽に取り組めるグラウンドゴルフ、カローリング、ボッチャ、モルックなどのニュースポーツの普及を主体に推進していきます。

また、競技力の向上では、

## 歴史・文化・芸術

町制施行70周年記念事業として



ふくしま駅伝や軟式野球大会などの市町村対抗競技を中心に取り組みしていきます。さらに、スポーツ少年団など主体的に活動をしている関係団体の支援も行っています。

## 観光・交流

西会津なつかしca

rショー、西会津ふるさとまつり、西会津雪国まつりなど町内外から多くの来場者があるイベントの実施により、情報発信と交流人口の拡大を図ります。また、町の核となる観光資源の環境整備を進め、温泉健康保養センターの温泉掘削工事並びに、機械室改修工事など計画的な維持修繕を進めます。

さらに、観光分野における地域おこし協力隊を新たに配置し、町の観光振興を図っていきます。

## 移住・定住

移住・定住総合支援

センターを一層強化し「定住住宅整備費補助金」による支援を進めます。また、空き家を町が改修し、移住者用の賃貸住宅として活用する「空き家利活用事業」に取り組むなど、さらなる移住者への支援を推進します。

このほか、「特定地域づくり事業」では、マルチワーク環境をつくり、地域おこし協力隊事業の推進と併せ、移住者の就業機会の創出を目指します。



# いきいき健康こころつながるまちづくり

## 健康づくり

町民の皆さんの健康づくりを支援するため、健康コミュニティづくり推進事業に取り組み、6年目を迎えます。引き続き、鎌田實先生や奥知久先生の指導を受けながら、「からだ」の健康、「こころ」の健康、「つながり」の健康の3つによる「さすけねえわ(輪)」の健康づくりを進めます。

また、身体機能の維持・向上の効果が認められる「ラジオ体操」について、NHKラジオで全国に生放送される「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が、本年8月に本町で開催されることが正式に決定しました。これを契機にラジオ体操の普及拡大と浸透を図り、町民の皆さんの運動習慣定着へ向けてさらに推進していきます。

なげるため、健診結果を理解する機会の充実と2次健診の受診勧奨の強化を図ります。

また、「人間ドック助成事業」を周知し、受診費用の負担軽減に努めながら病気の早期発見・早期治療につなげていきます。

## 医療

歯科を除く町内唯一の医療機関である町国保診療所は、町民への医療の提供のほか、町内の施設入所者への診療や学校医・産業医など、町の医療サービス全般を担っています。本年度も3人の常勤医師による診療体制の維持・強化を図っていきます。

また、会津医療センターや民間病院などに非常勤医師の派遣を要請し、整形外科の診療を継続するなど、今後も安心できる医療体制の整備と安定した地域医療サービスの充実に努めます。

## 高齢者福祉

「西会津町第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画」に基づき、元気な高齢者から要介護高齢者まですべての高齢者の皆さんが、切れ目なく介護予防に取り組める体制を整備します。

さらに、「西会津町医療介護連携推進基本構想」に基づき、介護老人施設の整備について、まちづくりとの連動や財源の確保など全庁横断的な検討を行い、町民の皆さんとの合意形成などの課題へ対応を進めていきます。

また、認知症に関連する相談も増加していることから、本人や家族に寄り添った支援や、認知症にやさしいまちづくりを一層進めていきます。

住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように、地区サロンや地域ネットワークづくりを支援するとともに、見守り協定を締結した郵便局

## 社会福祉

地域におけるボランティア活動へのニーズが多様な分野に及んでいることから新たにボランティア活動サポートセンターに配置する地域おこし協力隊や福島大学と連携するとともに、会員自らが企画・提案していく新たなボランティア手法を確立し、活動を通じた生きがいづくりの強化に努めていきます。

## コミュニティ

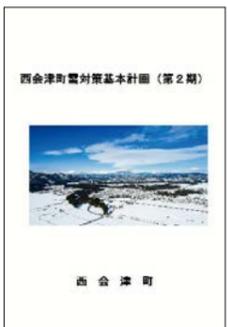
人口減少や少子高齢化が進む中、集落機能の維持や集落活性化に向け、引き続き集落支援員および集落支援担当の地域おこし協力隊を配置します。奥川・新郷地区の支援に加え、野沢・尾野本・群岡地区にも範囲を広げ、支援を進めます。

# 誰もがこころよく暮らせるまちづくり

## 雪対策

昨年12月に策定した雪対策基本計画(第2期)に基づき、官民協働による克雪活動を進めます。また、町民生活に支障を来さないよう引き続き道路除雪に努め、除排雪に必要な施設整備や除雪機械などの更新を計画的に進めます。

## 町雪対策基本計画(第2期)



## 交通体系・道路網

町民バスについては、定時定路線バスとデマンドバスのそれぞれの利点を生かした運行の見直しを図りながら利便性の向上に努めます。地区のサロン

や老人クラブを対象とした出前講座などでAIオンデマンドバスを含めた利用方法の周知を図るなど、バス交通体系の充実と利用促進に努めます。

道路網の整備については、安全・安心の確保と持続性のある地域づくりを支え、良質な社会資本を将来に確実に引き継ぐため、効果的な整備と効率的な維持管理に努めます。

また、町道の改良事業は、地域からの要望などに基づき計画的に整備を進めます。修繕事業は、老朽化している橋梁やスノーシェッドなどは点検結果と長寿命化修繕計画に基づき、損傷度や路線の重要度などを勘案しながら、計画的に修繕を進めます。舗装については、路面性状調査の結果に基づき、計画的に修繕を進めます。

国・県道については、町を

横断、縦断する重要幹線として、その整備や適正な維持管理を関係機関へ強く要望していきます。

令和4年8月の水害による通行止めの経験から、災害に強い道路や河川の整備を国・県に要望していきます。

## 情報通信

「デジタル戦略」を推進し、デジタル技術を戦略的に有効に活用することで、地域課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進などを図っていきます。

## 消防防災安全対策

消防設備について、小型動力ポンプ付消防積載車1台を更新し、施設設備の充実を図ります。また、消防団の処遇改善や活動環境の見直しを行い、消防力の充実強化に取り組めます。さらに、消防団アシス

## 自然・環境保全

喜多方地方広域市町村圏組合の構成3市町村で共同処理するゴミ処理について、より一層環境に配慮したごみの分別・収集・資源化の促進を図るため、圏域が一体となって方策を検討し、その実現に向けて取り組みます。

老朽化が進んでいるさゆり公園施設の計画的な更新により、利用者の利便性向上を図ります。また、福島レッドホープスとの連携や大学、高校などのスポーツ合宿誘致などに

## 上・下水道の整備

上水道などについては、安全で安定した飲料水を供給するため、老朽管や施設設備の更新を計画的に進め、引き続き水道未普及地区の解消などに取り組んでいきます。

また、下水道については、施設の長寿命化対策と農業集落排水処理施設の統合により、効率的な運営に努めるとともに、個別排水処理事業の普及促進を図ります。



## 熱戦を繰り広げる 町長杯争奪親善輪投げ大会

2月16日、さゆり公園体育館で第29回町長杯争奪親善輪投げ大会が開かれ、各老人クラブから39チームが参加しました。団体の部では阿賀Aチームが優勝を飾り、個人の部では仲川友久さんが最優秀賞に輝きました。結果は以下の通りです。

【団体】優勝＝阿賀A、準優勝＝尾登B、第3位＝長寿A、富久寿B

【個人】最優秀賞＝仲川友久さん（長寿A）、優秀賞＝五十嵐輝夫さん（下野尻B）、齋藤日出子さん（黒沢）



## 郷土の歴史、文化への理解を深める 町長杯西会津かるた大会

2月17日、第6回町長杯西会津かるた大会が野沢体育館で開かれ、34人が参加しました。対戦は小学校の低・中・高学年、一般の4ブロックごとに行われ、白熱した試合が行われました。結果は以下の通りです。

【低学年ブロック】三留奏七さん（2年）【中学年ブロック】三留瑠莉さん（3年）【高学年ブロック】原未来さん（5年）【一般ブロック】矢部乃衣さん（西中2年）



## 老若男女が集まる世代間の交流へ 町長杯健康マージャン大会

2月17日、第2回町長杯健康マージャン大会が町公民館で開催されました。当日は、西会津健康マージャン倶楽部の会員など20人が参加し、熱い頭脳戦が繰り広げられました。また、今回から女性の部を新設し、参加者同士の交流の輪が広がった大会となりました。結果は以下の通りです。

【優勝】五十嵐博文さん（宮野）【第2位】須藤久美夫さん（西林）【第3位】長澤隆さん（芝草）



## 設立20周年記念 町ボランティア感謝祭・講演会

3月2日、町ボランティア活動サポートセンターの設立20周年記念式典と講演会が町公民館で行われました。式典では、元会長の故齋藤宏一さんへ感謝状が贈られ、その後、達成章を受章した渡部雅二郎さん（黒沢）と渡部ツヤ子さん（芝草）が自身の活動を報告しました。式典後には福島大学行政政策学類の鈴木典夫教授が「これからの西会津町のボランティア活動」を演題に講演しました。



【銀色達成章（300時間）】＝佐藤百子さん、岩原祐子さん、渡部雅二郎さん（上写真）

【銅色達成章（100時間）】＝眞部里美さん、貝沼利則さん、安部アキ子さん、渡部ツヤ子さん

## 3年間の思い出を胸に 西会津中学校卒業式

3月13日、西会津中学校の卒業証書授与式が行われ、36人の卒業生が思い出の詰まった学校を巣立ちました。

式では園部毅校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡した後、「皆さんは仲間を大切にする笑顔の似合う学年でした。西会津で学んだことを誇りに、これからの人生を歩んでください」と式辞を述べました。続いて五十嵐正彦教育長をはじめ、薄町長や来賓の皆さんから卒業生にはなむけの言葉が贈られました。

在校生による送辞は齋藤煌介さんが務め、答辞では卒業生の大槻茉紘さん（写真左下）が仲間との思い出や先生への感謝を述べた後、「大好きなみんなとの出会いに感謝し、明日から始まる未来を強く見据え、ここで過ごした誇りを胸に、未来に向かって諦めず進んでいきましょう」と答辞を述べました。



## 力強く次への一步を踏み出す 西会津高校卒業式

3月1日、西会津高校の卒業証書授与式が行われ、14人の卒業生が人生の新たな一步を踏み出しました。

式では渡邊雅彦校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。在校生代表送辞は渡邊柊さんが務め、式の最後には卒業生代表の大室樹麗さんが「これから私たちは新しい道へと一步を踏み出します。大きな困難にぶつかった時は西高で得た不撓不屈、質実剛健の精神を思い出し力強く進んでいきます」と固い決意を表明しました。



## 一層の連携強化を誓い合う 町商工会青年部創立60周年記念式典

2月17日、町商工会青年部創立60周年記念式典が野沢体育館で行われました。式典では、青木一浩部長が過去10年の歴代部長に感謝状を贈り、その功績を称えました。式典後に開かれた講演会では、漫才師の関あつしさんが「人が集まる人をつくる」をテーマに講話を行い、出席者は話に聴き入っていました。懇親会で提供された料理や手土産は町商工会青年部員の店舗で作られたものが使用され、10年間の歩みを振り返りながら交流を深めていました。



# 第28回沖縄冬季交流

7ヶ月ぶりの再会でより絆を深めた3日間

## 和太鼓でお出迎え

2月9日から11日までの2泊3日の日程で、冬季交流事業を行いました。歓迎式では、西小6年の佐藤佑愛さんが「例年になく雪が少ないですが西会津を大いに楽しんでください」とあいさつしました。この日のために西会津大山さゆり太鼓から教わり練習をしてきた「良かった太鼓」



▲歓迎式での創作和太鼓演奏



▲鶴ヶ城見学



▲たくさんの雪に大喜び

## 時間を忘れ雪遊び

当初はスノーモービル体験や西会津小学校のげんき山でソリ遊びを行う予定でしたが、積雪が少ないことから、町内でも積雪の多い、小杉山地区の協力を得て雪遊びを行いました。児童は時間を忘れて雪を楽しんでいました。

## 好評を得た手作り料理

2日目の昼食は保護者の協力により会津の郷土食「こづゆ」を提供しました。大宜味村の児童は初めて食べる会津の郷土食に興味を示し、お別れ式で五十嵐正彦教育長から「食べ物では何が美味しかったですか」と聞かれると「こづゆ」などの返事が多く返ってきました。



## また会いましょう

最終日は、大宜味村児童が雪国まつりのオープニングセレモニーでエイサーを披露し、その後、雪国まつりを楽しみました。お別れ式では、西小6年の柴村花菜さんが「雪遊びなど楽しい思い出となりました。また会いましょう」とあいさつしました。リモートでの学校・地域紹介、大宜味村での夏季交流、そして今回の冬季交流で児童たちは絆を深めることができました。

## 3地区でスポーツ大会を開催

2月25日、野沢・尾野本・群岡で各地区体育協会の支部と公民館の分館などの主催でスポーツ大会を開催しました。



### 第26回野沢地区親善ゲートボール大会

屋内ゲートボール場すばく西会津で、町ゲートボール協会の協力のもと8自治区14チームが出場して、第26回親善ゲートボール大会を開催しました。当日は小学生の応援団や、高校生・大学生のプレイヤーも会場を盛り上げ、世代を超えた交流が図られました。

【優勝】4町内A 【2位】5町内 【3位】7町内A、4町内B



### 第52回群岡地区家庭バレーボール大会

群岡体育館で4チームが参加し、第52回家庭バレーボール大会を開催しました。

白熱した試合が繰り広げられましたが、時折歓声や笑い声が飛び交うなど、参加者の親睦を図ることができました。

【優勝】上野尻Aチーム 【2位】上野尻Bチーム 【3位】下野尻チーム

### 第48回尾野本地区町民卓球大会



さゆり公園体育館で7自治区17チーム、約150人の選手や応援者が集まり、第48回町民卓球大会を開催しました。

競技中は、賑やかな雰囲気につつまれ、参加者は楽しみながらプレーしていましたが、決勝戦ではお互い一步も譲らない試合が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

【総合優勝】萱本  
【一般混合の部】優勝 上小島 2位 萱本  
【一般男子の部】優勝 萱本A 2位 上小島  
【一般女子の部】優勝 萱本B 2位 森野

## 西中町民図書館 新刊オススメ本



『きこえる』  
[道尾 秀介 著]  
講談社

「音」をテーマにした5つの物語が語られるミステリー小説です。作中のさまざまなタイミングで登場する二次元コードを読み取り、音声を再生すると、物語にまつわる音を聞くことができます。突然亡くなったシンガーソングライターが残した「デモテープ」や言えない過去を抱えた2人の男の「秘密の会話」など、小説を読むだけでは分からない仕掛けも、音声を聞くことで立体的に見え、謎を解き明かしていく感覚に臨場感が生まれます。

音声と小説を融合させた、誰も経験したことがない体験型ミステリーです。ぜひ、あなたの「耳」で推理してみてください。



『ガザとは何か』  
[岡 真理 著]  
大和書房



『老いの上機嫌』  
[樋口 恵子 著]  
中央公論新社



『まいまいつぶろ』  
[村木 嵐 著]  
幻冬社



『ファラオの密室』  
[白川 尚史 著]  
宝島社



25 人の子どもたちが西会津小学校に入学

**ぼくたちわたしたち 新1年生**

この春、西会津小学校に入学する 25 人の新 1 年生の皆さんを紹介します。ご入学おめでとうございます。

- |       |          |              |             |
|-------|----------|--------------|-------------|
| 2 町内  | 田崎 光莉さん  | 堀 越 伊藤 勘真くん  | 牛 尾 日黒 蒼 くん |
| 3 町内  | 平野 梨紗さん  | 齋藤 凌馬くん      | 出ヶ原 佐藤 鈴 さん |
| 4 町内  | 佐々木 太吾くん | 安 座 小川 安流永さん | 徳 沢 佐藤 蓮飛くん |
|       | 佐藤 楓 さん  | 森 野 大石 宙汰くん  | 平 明 仲川 日菜さん |
| 7 町内  | 中田 陽彩くん  | 松 尾 赤城 由羽さん  | 柴 崎 武藤 優姫さん |
| 9 町内1 | 二瓶 燈莉さん  | 渡部 煌大くん      | 向 原 伊藤 蒼悟くん |
|       | 物江 暁我くん  | 尾 登 林 泰利くん   | 佐久間 翔葵さん    |
| 9 町内2 | 薄 玲衣さん   | さゆり丘 塚原 弥 くん | 中ノ沢 矢部 衣織さん |
|       |          | 渡部 佑真くん      |             |



〈問い合わせ先〉

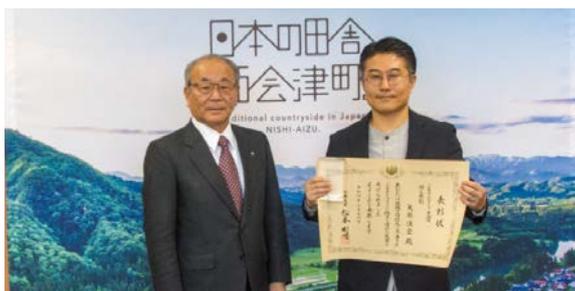
学校教育課 教育総務係 ☎ 4 5 - 2 2 1 6

総務省「令和 5 年度ふるさとづくり大賞」

**総務大臣表彰を受賞 矢部佳宏さん**

「令和 5 年度ふるさとづくり大賞」で、矢部佳宏さん（一般社団法人 BOOT 代表理事）が総務大臣表彰に選ばれました。

西会津国際芸術村の運営や古民家ホテル「NIPPONIA 檜山集落」を開業するなど新たな人の流れを生み出す試みが評価され受賞となりました。2 月 16 日に東京で表彰式が開かれ、2 月 29 日に薄町長へ受賞を報告しました。福島県関係者の受賞は 4 例目で、個人表彰は矢部さんが初めてです。



▲受賞を報告する矢部さん（写真右）

**お知らせ**  
INFORMATION

ケーブルテレビ  
さゆりチャンネル  
4 月の放送案内

◆にしあいづニュースワイド

平日・午後 6 時 30 分～ほか

◆マイビデオ募集

皆さんが撮影した映像をお寄せください。

◆みんなの掲示板・コーナー

シヤル（有料）随時受付中

〈問い合わせ先〉

（一社）西会津ケーブルネット

☎ 45 - 4 4 6 1



西会津町生活  
応援商品券を配付

◆対象者

令和 6 年 2 月 1 日時点で町

に住民票がある人

◆配付時期

3 月中旬からゆうパックで

配付しています。

※地区や家庭により配付時期

が異なります。

◆利用期限

令和 6 年 6 月 30 日（日）まで

◆利用できる事業者

同封している「西会津町生

活応援商品券・取扱店一覧」

または、町ホームページでも

確認できます。



▲町ホームページ・取扱店一覧

〈問い合わせ先〉

◎商品券の取扱全般、取扱業者

町商工会

☎ 45 - 3 2 3 5

◎商品券事業全般、配達関係

商工観光課 商工観光係

☎ 45 - 2 2 1 3



## 25 人の子どもたちが西会津小学校に入学 ぼくたちわたしたち新1年生

この春、西会津小学校に入学する 25 人の新 1 年生の皆さんを紹介します。ご入学おめでとうございます。

|       |          |               |             |
|-------|----------|---------------|-------------|
| 2 町内  | 田崎 光莉さん  | 堀 越 伊藤 勘真くん   | 牛 尾 目黒 蒼 くん |
| 3 町内  | 平野 梨紗さん  | 齋藤 凌馬くん       | 出ヶ原 佐藤 鈴 さん |
| 4 町内  | 佐々木 太吾くん | 安 座 小川 安流永さん  | 徳 沢 佐藤 蓮飛くん |
|       | 佐藤 楓 さん  | 森 野 大石 宙汰くん   | 平 明 仲川 日菜さん |
| 7 町内  | 中田 陽彩くん  | 松 尾 赤城 山羽さん   | 柴 崎 武藤 優姫さん |
| 9 町内1 | 二瓶 燈莉さん  | 渡部 煌大くん       | 向 原 伊藤 蒼梧くん |
|       | 物江 眺我くん  | 尾 登 林 泰利くん    | 佐久間 翔葵さん    |
| 9 町内2 | 薄 玲衣さん   | さゆりが丘 塚原 弥 くん | 中ノ沢 矢部 衣織さん |
|       |          | 渡部 佑真くん       |             |



〈問い合わせ先〉  
学校教育課 教育総務係 ☎45-2216

### 野沢体育館の 使用について

新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としての使用が終了したため、社会体育施設として野沢体育館の使用が可能となります。詳しくは町ホームページを確認ください。

#### ◆申込方法

- ① 体育施設使用承認申請書を町公民館へ提出する
- ② かんたん申請 (Web) で手続きをする

#### ◆注意事項

※社会体育施設を使用するた  
めには、事前に体育施設使  
用団体の登録が必要です。  
※施設の空き状況などにより  
使用できない場合があります  
ので、事前に公民館まで  
問い合わせください。  
※申請日は、使用希望日の3  
か月以内の範囲としてくだ  
さい。

#### 〈問い合わせ先〉

生涯学習課 生涯学習係  
☎45-3244

### 緊急通報システム で高齢者の生活 を見守ります

緊急通報システムは、急に体調が悪くなった場合や火事など日常生活で困った時に緊急通報装置の非常ボタンを押すだけで、24時間365日、インターネット緊急通報センター (会津若松市) に連絡できるシステムです。

◆対象者  
おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や障がい者などで見守りが必要な人。ただし、利用の決定は次の条件を加味して町が決定します。

- ① 介護保険法における要支援以上の高齢者
- ② 重度心身障がいのある高齢者
- ③ 現在、保健・福祉サービス

## 総務省「令和5年度ふるさとづくり大賞」 総務大臣表彰を受賞 矢部佳宏さん

「令和5年度ふるさとづくり大賞」で、矢部佳宏さん (一般社団法人 BOOT 代表理事) が総務大臣表彰に選ばれました。西会津国際芸術村の運営や古民家ホテル「NIPPONIA 檜山集落」を開業するなど新たな人の流れを生み出す試みが評価され受賞となりました。2月16日に東京で表彰式が開かれ、2月29日に薄町長へ受賞を報告しました。福島県関係者の受賞は4例目で、個人表彰は矢部さんが初めてです。



▲受賞を報告する矢部さん (写真右)

### 「振替納税」を 利用する皆さんへ

- ◆令和5年分所得税等の口座振替日について
- ◎申告所得税および復興特別所得税 4月23日 (火)
- ◎個人事業者の消費税および地方消費税 4月30日 (火)



◆利用料  
月額4620円 (税込)  
※所得に応じて費用負担が発生します。前年が所得税非課税世帯の場合は自己負担は0円です。

#### ◆その他注意事項

本システムに係る装置は貸与となります。  
〈問い合わせ先〉  
福祉介護課 福祉係  
☎45-2214

## お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ  
さゆりチャンネル  
4月の放送案内

◆にしあいづニュースワイド  
平日・午後6時30分〜ほか  
◆マイビデオ募集  
皆さんが撮影した映像をお寄せください。

◆みんなの掲示板・コマィ  
シヤル (有料) 随時受付中  
〈問い合わせ先〉  
(二) 西会津ケーブルネット  
☎45-4461



※振替日の前日までに預貯金口座の残高をご確認ください。残高不足で引き落としができない場合は、納期限の翌日から納付日まで延滞税が加算されます。

◆お問い合わせ先  
喜多方税務署  
☎0241-24-5050

### 山菜類モニタリング 検査を受付中

県内で生産または採取・出荷される野生山菜、栽培キノコなどは安全性を確認するため、モニタリング検査を実施しています。

出荷する場合は、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施するように願います。また、検査を希望する場合は、事前に左記まで問い合わせください。

◆お問い合わせ先  
農林振興課 林政係  
☎45-4531

### 西会津町生活 応援商品券を配付

- ◆対象者  
令和6年2月1日時点で町に住民票がある人
- ◆配付時期  
3月中旬からゆうパックで配付しています。  
※地区や家庭により配付時期が異なります。
- ◆利用期限  
令和6年6月30日 (日) まで
- ◆利用できる事業者  
同封している「西会津町生活応援商品券・取扱店一覧」または、町ホームページでも確認できます。



▲町ホームページ・取扱店一覧

- ◆お問い合わせ先  
商品券の取扱全般、取扱業者  
町商工会  
☎45-3235
- ◎商品券事業全般、配達関係  
商工観光課 商工観光係  
☎45-2213

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

### 有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0cm × 横 8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000円 / 月

#### 〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



### 水道メーター検針再開のお知らせ

4月からメーター検針を再開します。毎月20日～22日に検針員が検針を行いますので、メーターボックス周辺の片付けをお願いします。

#### ◆冬期間の水道料金

9月～11月分の使用水量の平均で納めた12月～3月分の料金は4月の検針結果に基づき、過不足分を精算します。

#### ◆次のような場合は届出を

- 水道・下水道の使用を開始、止めるとき（届出は5営業日前まで）
- 長期不在になるとき
- 世帯人数に変更があるとき（転入・転出・出生・死亡など）
- 使用者（または所有者）名義の人が亡くなった、または転居したとき
- 水道・下水道使用料金を口座振替にする、または振替口座を変更するとき

#### 〈問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係  
☎ 45-4534

### 漏水などによる水道料金の減免

水道管の凍結や老朽化などによる漏水が原因で水道使用料金が高額になった場合、町指定給水工事業業者による漏水修理を行い、減免申請をすることで、水道料金の減免措置が受けられます。

#### ◆減免の対象となるもの

- 地下漏水（給水管破裂、メーター接合不良、壁の中などの容易に見えない給水管破裂など）
- 不凍水抜栓の不良による漏水（接合不良、パッキン不良など）
- 特殊器具および高架タンクの給水設備の器具不良による漏水
- 凍結に伴う給水管破裂による漏水（積雪のため漏水箇所が容易に見えない場合に限り）
- 不凍水抜栓の操作不良による漏水（半開閉など）

※故意に給水装置を損傷させた場合や、漏水の事実を知りながら修理を怠っていた場合などは対象外です。

#### ◆減免となる料金

メーター検針で分かった水量から、前年同時期の使用水量または前3カ月平均使用水量のいずれか少ない方を差し引いた水量の2分の1を免除します。免除する期間は最高4カ月までです。

#### ◆減免の申請方法

減免申請書などは、町指定給水工事業業者を通じて作成しますので、施工業者に相談してください。

#### ◆町指定給水工事業業者

事業者一覧については、町ホームページを確認するか、町建設水道課まで問い合わせください。



▲町ホームページ・事業者一覧表

#### 〈問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係  
☎ 45-4534

### 家庭血圧計の購入費補助を実施しています

町では、脳血管疾患などの予防対策の一環として、家庭での血圧測定を広く普及するため「自動電子血圧計購入費補助事業」を実施しています。



補助金額は、1台当たり購入金額の3分の2以内（上限5000円）で、初めて購入する人だけでなく、すでに自動電子血圧計を持っている人で、更新のために購入する場合も対象となります。なお、申込方法などの詳細は左記まで問い合わせください。

※補助金の交付は、過去5年間に交付を受けておらず、町内取扱店から購入した場合に限りです。

#### 〈問い合わせ先〉

健康増進課 健康支援係  
☎ 45-4532

### 国民年金の加入について

厚生年金加入者以外で20歳以上60歳未満の人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。次に該当する人は忘れずに町役場で手続きを行ってください。

#### ◆手続きが必要な人

- 20歳になった人（誕生日の前日が取得日）
- 年金機構から納付書が送付されます。納付書が届かない場合は問い合わせください。
- 会社を退職した人

会社から資格喪失日が証明できる書類（退職証明）を発行してもらってください。

#### ○配偶者の扶養から外れた人

会社から扶養から外れた日が証明できる書類を発行してもらってください。

#### ◆保険料

令和6年度の国民年金保険料は、月額1万6980円です。便利な口座振替やクレジット納付を利用ください。

### 令和5年度除排雪費用助成が終了

令和5年度除排雪費用助成事業（給付券）は3月31日をもって終了しました。給付券は表示してある有効期限を過ぎた除雪作業には使用できません。未使用分は各自で破棄または処分をお願いします。

なお、除雪作業の支払いを給付券で受けた登録事業者の皆さんは、町への請求漏れのないよう注意し、4月中に請求してください。

#### 〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係  
☎ 45-2214

### 福島県防災アプリが完成しました

福島県では、県民の皆様が災害に備え、災害情報や防災情報を入手し、迅速な避難行動に繋がるよう、「福島県防災アプリ」を制作しました。

#### ◆機能の紹介

- 各種防災のお知らせ
- 防災マップの閲覧
- 避難所の検索
- 安否登録・確認
- 避難計画（マイ避難シート）の作成

「福島県防災アプリ」をダウンロードして、日頃から災害に備えましょう。

#### ◆ダウンロード方法

Webで「福島県防災アプリ」と検索してください。



#### 〈問い合わせ先〉

福島県危機管理課  
☎ 024-521-8651

4月6日（土）～15日（月）は令和6年**春**の全国交通安全運動期間です

- ◆運動スローガン  
「**挙げる手をやさしく見守る 横断歩道**」
- ◆年間スローガン  
「**わたります 止まるやさしさありがとう**」

◆運動の重点

- ①こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- ②歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- ③自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの順守

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊集落支援担当の渡辺です。

今月号で私が担当する集落支援だよりは最後となります。5年間ご愛読いただきありがとうございました。最終号もぜひ、ご覧ください！



地域おこし協力隊 集落支援担当  
わたなべ たかひろ  
渡辺 貴洋 隊員

## 新しい地域おこし協力隊が着任

2月より、地域おこし協力隊の集落支援担当に井上朋夫隊員が加わりました。

中町集落にある町集落支援拠点施設「結くまE」の管理人を務めながら、主に奥川地区の集落支援業務を担当します。皆さんこれからよろしくお願ひします。

## 県事業活動報告

年度末は、大学生との交流をはじめとした集落支援活動で活用している補助事業の実績報告や来年度のさまざまな申請の対応をしています。



大学生と集落の協働による地域活性化事業 活動報告会

2月に福島県主催の活動報告会が行われました。今年度は、奥川地区で活動している「やどりぎ案内」という東京の美術大学の学生を中心としたグループと奥川地域づくり協議会の報告会に参加しました。やどりぎ案内が奥川地区で実施した屋号文化に着目したワークショップやシャツタワーアートの制作活動が注目され、優良事例に選ばれました。



▲やどりぎ案内の知事表敬訪問の様子

また、今年度発足した奥川地域づくり協議会の活動も補助金を活用している実施団体の発表団体を選ばれ、事業活動を発表する機会がありました。補助金を活用して地域づくりが行われている団体が県

内各地にいくつもある中で、今まで取り組んできた活動が多くの人に伝えられる機会をもらえたことがとても嬉しく思いました。

来年度も継続して地域活動を行っていきますので、ぜひ活動の様子をご覧ください。



▲奥川地域づくり協議会による報告の様子

## 最後のお便り

3月末で5年間にわたり続けてきた地域おこし協力隊の任期が終わります。それに併せて、私が担当する集落支援だよりも今月が最終号になります。本来であれば、任期は3年が最長ですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり2年間延長して活動を続けてきました。これまで活動を続けて来られたのも、知

動を続けて来られたのも、知らないことを教えてくれたり、協力してくれたりする人がいたからできたことです。集落支援の活動を通して感じたのは、集落を成り立たせているのは紛れもなくその地域に暮らす皆さんということです。皆さんが協力し合いながら元気に長く居続けられる地域はとても強いものです。地域の人が年々減っている現状もありますが、外の人との力も借りながら互いに支え合える地域づくりが築けたらと思っています。



自分のために 家族のために 明日のために

## 人間ドック助成事業のご案内

町では、健康管理の継続と生活習慣病、その他の疾病の早期発見・早期治療につなげることにより、さらなる健康増進及び健康寿命の延伸を図るために、人間ドックを受診する人へ助成金の交付を実施します。



健康増進課 健康支援係  
佐藤 実菜 主任保健師

### 対象者

○町内在住の40歳以上の人  
(昭和60年3月31日以前生まれの人)

- ・令和5年度において本事業の助成を受けていない人が対象です。(例：令和5年度に助成を受けた場合は、令和8年度から対象)
- ・人間ドックを受診した人は、町の健(検)診(特定健診・健康診査)はキャンセルとなります。

### 申込方法

○町指定の交付申請書を健康増進課へ提出。  
(受付期間) 5月1日(水)～17日(金)  
※土、日、祝日を除く

- ・交付申請書は町ホームページから4月中旬以降にダウンロードしていただくか、健康増進課窓口でお受け取りください。
- ・**本事業を申し込む場合は、必ず健康増進課に申請**をしてください。自身で直接、医療機関へ申し込みをした場合は**助成の対象になりません**。

### 助成額

○助成金は町から医療機関へ直接支払います。

| 助成回数 | 助成金額      | 自己負担額                    |
|------|-----------|--------------------------|
| 1回   | 30,000円まで | 助成金額を除いた金額を受診時にお支払いください。 |

### 受診できる医療機関

| 医療機関名    | 受診期間  | 助成前の参考金額(税込)       |
|----------|-------|--------------------|
| 会津中央病院   | 7～10月 | 40,700円            |
| 竹田総合病院   | 7～11月 | 41,800円            |
| 坂下厚生総合病院 | 7～11月 | 39,600円<br>※組合価格あり |
| 佐原病院     | 7～12月 | 29,000円            |

- ・受診日は各病院との調整後に決定します。
- ・その他オプション検査を受診する場合は別途追加で料金が発生します。

家族を亡くしたり、心が折れそうなことが多くありましたが、「家族の分まで長生きしようね」と2人で語り合い、つながりができました。

体の健康のために天気の良い日はウォーキングをしています。目標は7千歩。ときには1万歩になることもあります。近所の人へ見守りも兼ねて声掛けをしています。いろいろなおコースを2人で歩いて、新しい人と知り合い、つながりができると嬉しくなります。

これまでいろいろな出来事がありました。今は幸せだなあと感じています。

10年ほど前から心を許せる友人として、  
今では本当の姉妹のような関係です。



▲高橋 紀久子さん(芝草) 写真右  
長谷川美枝子さん(芝草) 写真左

今月のさすけねえ輪実践者

# 戸籍の窓口

(2月受付分)

## ■ まちの人口

|    |         |        |
|----|---------|--------|
|    | 3月1日現在  | (前月比)  |
| 人口 | 5,538人  | (-8人)  |
| 男  | 2,705人  | (-4人)  |
| 女  | 2,833人  | (-4人)  |
| 世帯 | 2,507世帯 | (+1世帯) |

## ■ お誕生おめでとう

|                |     |
|----------------|-----|
| 八島 和来ちゃん 泰斗・真友 | 1町内 |
| 貝沼 虎侑くん 和樹・翔子  | 上野尻 |

## ■ お悔やみ申し上げます

|             |      |      |
|-------------|------|------|
| 小島 淳一 (76)  | 安司 兄 | 5町内  |
| 山内 ミサ (96)  | 佳祐 母 | 8町内  |
| 石田 イチ (89)  | 博 母  | 9町内1 |
| 大槻 悦子 (79)  | 悟 姉  | 芝草   |
| 井上 ミイ子 (90) | 治 母  | 森野   |
| 伊勢亀ヨシ子 (91) | 保雄 母 | 下小島  |
| 鈴木 弘 (83)   | 秋嗣 父 | 下野尻  |
| 宮澤 一男 (90)  | 織祇 兄 | 大舟沢  |



## Dream

# 聞いて！わたしの夢



[ 1年・生徒会総務 ]

すずき あみ  
鈴木 亜美 さん

### ◆私の夢——

私の近い未来の目標は、志望校に合格することです。しかし、まだその志望校は決まっていません。これから行われる高校説明会の話などを参考に決めていこうと思います。

これからの中学校生活、高校生活の間にどんな職業に就きたいか、どんな大人になりたいか見つけようと思います。

### ◆努力していること——

勉強の内容を理解し、復習をしています。

### ◆未来の自分に一言——

志望校に合格できましたか。  
元気に頑張ってください。

## Person

# 町民バトンタッチ

さとう まさみつ  
佐藤 正光 さん [下小島]

### ◆趣味

スマホでラジオを聞く

### ◆特技は？

想像力

### ◆熱中していることは？

ウォーキング

### ◆自分を一言で表現すると？

ゆっくり

### ◆あなたのモットーは？

失敗は成功のもと

### ◆最近感動したことは？

西会津高校の令和5年度卒業  
証書授与式

### ◆これからやってみたいことは？

まだ見ていない観光名所に行きたい

### ◆次の方を紹介してください

S・Sさん

## とっておきの物は？

市町村対抗駅伝敢闘賞受賞(町の部)。長い間順位下位にいたが、その後順位が上がり、受賞してみんな喜びました。



鈴木 暁さん(3月号)からメッセージ

除雪ではお世話になってます！春から農作業頑張ってください。



## Column

# 協力隊リレーコラム

## チャレンジング

今年2月、雪国まつりにて町の地域おこし協力隊員でカレーライスの店を出店しました。その名もミツカレー。たくさんの方に足を運んでいただきまして、改めてありがとうございます。町のお祭りの盛り上げに参加したい！気軽に立ち寄ってもらえる出展がしたい！など今回出展に至った動機は色々ありますが、好評でよかったです。町協力隊としては初の試みでしたが、いつもとはまた違った新しい交流が生まれ、それぞれの個性？も発揮された面白い機会でした。

着任した当初には、まさか活動の中で自分の名前がとられたカレーが生まれているとは全く思ってもありませんでした。新年を迎え、コラムを読んでもださっている皆さんの中には新たな学年・職場で心機一転、という方もいるでしょう。慣れないことの連続で戸惑うこともあると思いますが、経験する物事の何がうまくいってプラスになるかは分かりません。それぞれの場所で頑張っていきましょう！



みつつか はるひさ  
三塚 玄久 隊員

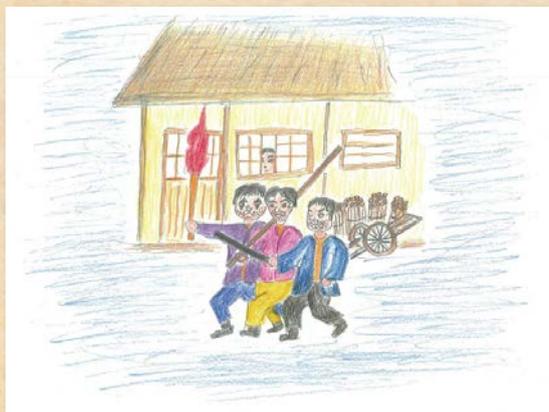
協力隊3年目。ケーブルテレビ番組制作・アナウンサー。宮城県仙台市出身。福島大学行政政策学類卒業。学生時代、実家からの仕送りに入る多様なレトルトカレーが楽しかった。

## 恐怖におののいた小島村煉瓦工場騒動 れんが

明治43年(1910)5月14日、小島村の人々を震え上がらせる事件が起きました。当時、岩越鉄道(現在の磐越西線)建設のためのトンネル煉瓦製造工場が5ヶ所あり、その1つが小島村にありました。久保組・稲葉組・細田組・小沢組などがそれぞれに工場を持ち、煉瓦作りをしていました。この中で1番大きいのが久保組でした。煉瓦の材料の粘土は同村の近田という所から得ていましたが、粘土を焼く燃料の松は必要不可欠なもので購入先を見つけてはそれぞれ購入していました。

ところが、小島村が共有林の松林2町歩(約20,000㎡)という大口を稲葉組に売却したのです。これを聞きつけた久保組は怒り狂います。もともと稲葉組と久保組は対抗意識が強く野沢町の料理屋などで衝突していた間柄ですから、久保組に火が着いたのです。松林を売却した小島村の幹部数人にその矛先を向け、幹部の家の軒先に置いてあった、村の大事な消防組第3部の消防ポンプを壊したのです。これを見た第3部長が半鐘を乱打し、消防組員を招集して対立しましたが、久保組はこん棒などで消防組員に殴りかかるなどして重傷者が出るまでになりました。勢いにのった久保組は、こん棒の先に石油をしみ込ませた布綿を巻き、火を着けて逃げ帰った消防組員を探して一軒一軒家々を回ったので村人は恐怖におののきました。

報せを受けた野沢派出所と尾野本駐在所から警官が駆けつけましたが、多勢に無勢で抑えられず、坂下町の本署(当時、野沢・尾野本は坂下と同じ河沼郡でした)に出動を急報しました。やがて坂下本署から署長以下警官数十名が駆けつけ、久保組の者を家宅侵入罪・銃刀法違反などで逮捕し、静かな小島村を恐怖のるつばに陥れた大騒動は終わったのでした。



イラスト：田崎 敬修

(参考文献：西会津町史第2巻・通史Ⅱ)

### お詫びと訂正

3月号6ページの西中町民図書館の開館時間について、正しくは左記のとおりです。お詫びして訂正します。

火く金午前8時30分〜午後7時  
土、日午前8時30分〜午後5時

### 今月の表紙

今月は、3月1日に行われた西高の卒業証書授与式から。高校生活最後のホームルームでは、同級生や保護者の皆さんへ感謝の気持ちを伝えたり、卒業生から担任の先生へサプライズが行われたりと感動に包まれた式でした。

(8ページに関連記事)

### 編集後記

町内イベントが通常開催されるようになり、カットせざるを得ない話題もしばしば。なるべく多くの話題を掲載するため今月のまちの話題のページもぎつりになりました。まいました。(伊藤)